

〈隷書〉

筆硯更償閑裏の縁
茗薰聊結靜中縁

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉

筆硯更償閑裏の縁
茗薰聊結靜中縁

井之上南岳先生書

□ 筆硯更に償う閑裏の縁 茗薰聊か結ぶ靜中の縁 (不詳)

次号予告「綠樽須盡日」

〈行書〉

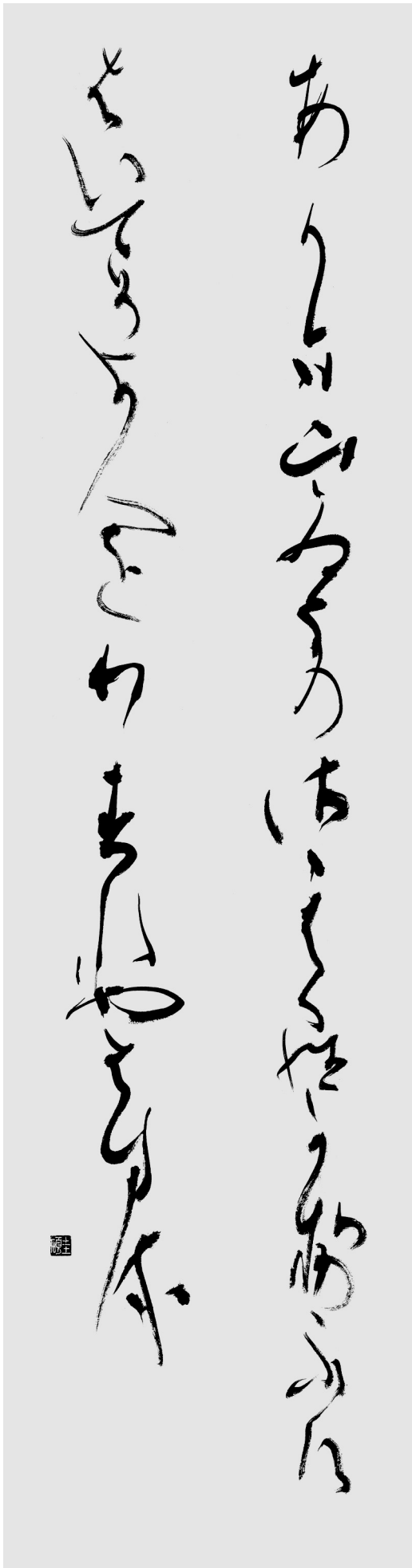


清原大龍先生書

▽筆などを執って詩や書くべき書の約束をすまず、茶や香はまた静中のゆかりを結ぶのである。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□あり万山 ゐなの佐々羅 可勢ふ介者 いてそよ人を わ春れや者す流

〈百人一首五十八〉

ありま山 ゐなの笹原 風吹けは いてそよ人を 忘れやはする

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生臨

朝散太夫満歳除
常州司倉參軍事

▽李思訓碑

朝散太夫満歳除常州司倉參軍事

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

つるはけで塵も空と思ふとき
燃え殻のごとき
雪が落ちくる
燃え殻のいとも、雪が落ちくる

□安永落子の歌 つきぬけて 虚しき空と 思ふとき 燃え殻のごとき 雪が落ちくる

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） —12月27日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》



山 本 飛 雲 先生

□「雪つむぎ」

伊豆裕子の詩

耐えきれず

炸け飛ぶ

雪の繭

紙面を最大限に生かして、黒と白のコントラストが美しい雄大な作品をめざしてください。



小 畠 秋 聲 先生

□ 無我

①私心がない、心が公平無私なこと
②我を忘れる
横への広がり
を「無」に、
縦への伸びを
「我」に求めて、
遅速の変化をつけてみました。

※半折 $\frac{1}{2}$ 横

の出品票

は作品の

左下に貼

って提出

下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 遺音猶お耳に在り (晋・潘岳)
その生前の懐かしい声はまだこの耳の中に残っている。



次号予告「歡言酌春酒」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 遺音猶お耳に在り (晋・潘岳)

その生前の懐かしい声はまだこの耳の中に残っている。

遺音猶
在耳

成美書



次号予告「歡言酌春酒」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 礼^{れい}

誼^ぎ

(「漢書」刑法志)

人の踏み行うべき道。

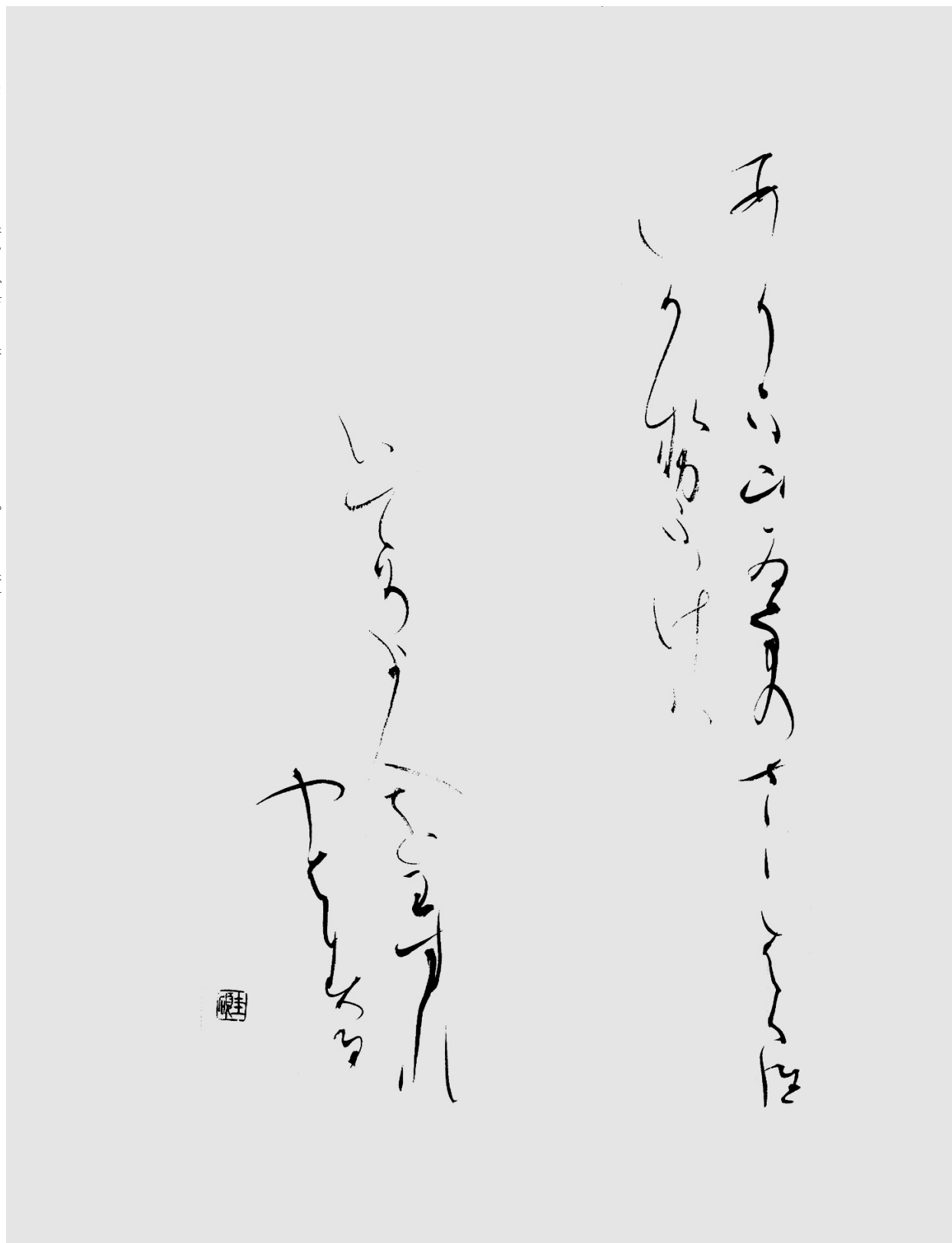


(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

ありま山 ゐなの笹原 風吹けは いてそよ人を 忘れやはする

□ あり^ま万山 ゐ^なのさゝ^は者羅 可^か勢^せふけ^は八 いてそよ人を 王^わすれ^はや^は者^は春^する



舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

清原枌堂かいらどうの句 除夜の鐘 かすかに聞え 深雪みゆきかな

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)



渡邊大嶽先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

形よりもリズムに乗った流れを意識し、スケールの大きさを表現しよう。



「職司其憂」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

霜柱 師走 寒波 初冬の候 南天 雪おこし クリスマスローズ
冬景色 風花舞う 寒中見舞 年越そば

姓 号	寒中見舞	霜柱	南天	師走
	年越そば	冬景色	雪おこし	寒波
		風花舞う	クリスマスローズ	初冬の候

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

先日の講習会ではお世話になり
また各々の心や身体の状態に
色がもたらす効果など新発見
ばかりの一日だった新しい年からの
日常に活かしたいと思います 氣子

先日の講習会ではお世話になりました 各々の心や身体の状態に 色がもたらす効果など新発見
見ばかりの一日でした 新しい年からの日常に活かしたいと思います

兵 頭 白 慧 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

今年も残すところわずかとなりました。
いつでもお会い出来ると思いたが、ついつい
ご無沙汰ばかりで申し訳ありません。
そして美味い鍋でも囲みながら、楽々
時間を作りますか。先月の旅行の折に絶好
の日本酒も確保しました。近況報告、その他
いろいろ語り合えようと思います。
来週あたりいかがでしょうか。

野のある便箋に書いてみよう。

△26cm×18cm▽

紙質は自由。

- 手紙を出そうとする時、相手がどんな気持ちで読んでくれるのか想像しながら書く。逆に、もらった時は、想ってくれていたのを感じる。文字が上手というのはベストだと思うが、あたたかみのある丁寧なものこそが心を打つ。落ち着いて、大らかに、ペンを執る時間を大切にしたい。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

赤い実

小学 4 年

水の玉

小学 3 年

トロイカ

小学 2 年

わた

ようねん・小学1年

創造する喜び

中学 2・3 年

世界紀行

中学 1 年

希望の春

小学 6 年

広がる夢

小学 5 年

坂元紫香先生書

〈条幅 1/4 四尺画仙紙半折 1/4 : 68 cm × 17・5 cm〉

ようねん・小学一年

次号予告「ふね」

わた

□「わ」の二画目は筆の軸を指先でまわさないように気をつけて、のびやかに書きましょう。

小学二年

次号予告「かきぞめ」

イトカ

□「ハライ」「ハネ」「トメ」の筆づかいのちがいに気をつけて書きましょう。

坂 元 紫 香 先 生 書

小学三年

次号予告「正月」

水玉

□始筆のはいり方と線の方向に注意し、中心とバランスに気をつけ、明るく伸やかに書こう。

小学四年

次号予告「雪げしき」

実る

□点や画の接し方に注意し、平がなはや、小さめですが、筆力十分にバランスよく書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

小学五年

次号予告「新しい光」

広がる夢が

□「広」は三画目の左払いを十分に開き、「夢」は横画の長短・間隔に注意しましょう。

小学六年

次号予告「祈願」

希望の春

□「希」は左払いの長さや角度に注意し、「春」は左右の払いをのびやかに。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学一年

次号予告「清新の気」

世界行紀

□点画の連続や省略、筆順の変化、転折、「ハネ」「払い」の丸みなど意識して書こう。

中学二・三年

次号予告「花鳥風月」(行書)

創造する喜び

□平仮名は漢字よりやや、小さめに、また漢字と平仮名の調和に気をつけて流れよく書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

—12月27日締切—

小学二年

[illegible]

坂元紫香先生書

ようねん・小学一年

段 級	氏 名			
	と、	エ	かな	ねる
大	大	ル	ら	
す	す	フ	ず	ま
き	き			え
だ	だ	ず	い	に
よ	よ	う	つ	は
レ。	レ。	つ	た。	

小 学 四 年

わたしは、一セント玉をぎ
ゆうとにぎりしめて、小
で言った。なんだか悲し
くてしようがなかった。

坂元紫香先生書

小学三年

おじいさんはとうとう
病氣になつてしまひまし
た。おばあさんはつきつ
きりでかん病しました。

小学六年

小学五年

	段 級
	氏 名

内気な本たちは、必ずあなたの心の声を聞きつけて、喜びます。そして、あなたに、そっと働きかけてきてくれます。その働きかけの過程は、あなたの目には見えません。

	段 級
	氏 名

国際的な協力が進めば、天気予報は百パーセント的中するようになるのでしょうか。それはかなりむずかしいというのが、現在のわたしの考えです。

小 畠 秋 聲 先 生 書

一 般 (A)

中 学

	段 級
	氏 名

日本の地図を眺めてみる。無味乾燥な記号が多い中で、温泉の記号だけは味わい深い。地図上、山峡などにこの記号を見つけると、ランプの宿のひなびた風情が思い浮かんだりする。

	段 級
	氏 名

彼の談によれば、小さいころからの読書好きで、一度読み始めると止まらないのだという。本の話をするとき、彼の表情はいつそう輝く。午後五時。楽しいひと時が終了する。

小 畠 秋 聲 先 生 書

(この課題はA・Bいずれか一点のみとする)

※142%拡大で原寸大になります。